

三州原

社会福祉法人 愛真会
 児童養護施設 三州原学園
 〒892-0871 鹿児島県鹿児島市吉野町 10749-1
 TEL 099-243-0016 Mail sansyu@hya.bbq.jp
 HP sansyubara.com 令和 4年 8月 25日発行

【夏まつりしたよ】

8月19日に園内でお祭りをしました。焼きそば・たこ焼き・焼き鳥・フライドポテト・ポップコーン・わたがし・ワッフル・かき氷ジュース、射的とスパーボールすくいと出店をたくさんいただきました。それぞれ職員が準備をして、子どもたちを待ちました。



準備中、園内にはいい匂いが漂い始め、子どもたちもザワザワし、いざ祭りの始まりです。とにかく、店がたくさんありみんなが目移りしてどのお店も大繁盛、行列ができました。

残念ながら、断続的に雨が降り学園入り口、中テラス・食堂に場所を変更して行いましたが、そんなことは関係なくらい子どもたちのテンションは上がりっぱなしで、キャンプに行けなかった無念さを発散させていました。職員側もせっかくのお祭りで食べ物が足らなくなることがないよう頑張っていました。



いつもは、立って食べたらい儀が悪いとかい

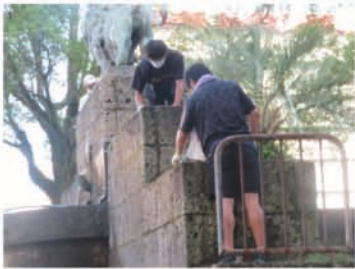
うところですが、今日は特別。とにかく楽しくをテーマにみんなが協力して笑顔で過ごすことができました。途中で食べすぎ注意という子どももいました。それもいい経験です。



今回、数十年ぶりに夏祭りを復活させましたが、みんなまた来年しようとして張り切っていました。コロナ禍のなか、いろいろな行事が中止になり、みんなで工夫しながら生活しているのが現状ですが、とにかく子どもたちの笑顔がなくならないように職員も頑張っています。

【清掃ボランティア活動】

8月7日、早朝から大久保利通像に集合してボランティア活動をしました。中高生6名と園長先生が参加しました。



鹿児島黎明ライオンズクラブの方と一緒に、周辺を掃きゴミを拾い、池のなかもきれいにしました。消防車も来て池や銅像に放水していました。毎年恒例でしたが、コロナ禍のなか久しぶりに実施され公園すべてがきれいになり良かったです。

【七夕】

8月7日に七夕を行いました。各棟飾りつけに工夫を凝らしていました。願い事も様々でした。「ラジコンがほしいです」という物をお願いするパターンと「三重飛びができるように」〇〇ができるようにというパターン。「ダイエツトが成功しますように」という健康パターン。中高生は、「就職内定」「受験合格」と現実的なパターン。それ以外がコロナ関連の願い事が多かったように感じました。みんなの願い事がかなうといいですね。



お願いしま〜す！



【寄贈・招待等お礼】

内原淳子様 溜美那子様 吉野公園様
 ユーコーラッキー新栄店様 河野清考様
 フードバンク鹿児島様 永迫博信様
 ラ・ボスコ森様 九州納豆組合様
 九州アイスクリーム協会様 木原和良様
 久保利治様 佐藤淑子様 大迫浩様
 門司一徹様

本当に、いつもありがとうございます。

8月25日現在在籍児童数

	男	女	計
幼児	3	0	3
小学生	12	5	17
中学生	2	6	8
高校生	4	2	6
計	21	13	34



【キッチンカーがきた!】

久しぶりにイベントを開催しました。キッチンカーを学園に呼んで、みんなでワイワイ楽しい一日を過ごす計画です。朝から小雨が降っていましたが、子どもたちの願いが通じたのか、天気はなんとかもってくれました。1台目の黄色の車が園内に入ってきて、みんな玄関や部屋から「きた〜」と大騒ぎでした。それからあと2台も到着して、前庭はまるで別世界となりました。

menu

魯肉飯! ホットドック



← コーヒーゼリー!

← タコライス!



→
だしカレー
→
→
フレンチトースト

コロナ対策のため、分かれて好きなキッチンカーに行き好きな物を頼むことにしました。どれも人気でどのキッチンカーにも行列ができて、「おいしそう〜。こっちの方がおいしそう〜」「このキッチンカーカッコいい」などみんなが笑顔で嬉しそうでした。みんなが回ってゲットしてきたそれぞれのご飯を前庭で食べました。



みんながおいしいと我先に食べていました。久しぶりにみんなが揃って食べる食事はやっぱり笑顔が多く最高の雰囲気でした。キッチンカーの方々のご厚意?でとにかく楽しい時間を過ごすことができました。

また、この日はジュースもたくさんありました。卒園生の長嶺勇太さんから3ケース頂いた物もだしています。ありがとうございます。

【世界遺産 寺山炭焼窯跡】

寺山の森再生プロジェクト参加

令和元年7月1日に発生した土砂崩れにより崩壊した炭焼き窯跡地一帯の災害復旧の一環でどんぐり植樹に参加しました。市内の中学校及び桜島どんぐりころころ委員会にて育てた苗木を5月28日午前中にアラカシマテバシイ・備長炭の原料となるウバメガシなど約千本を鹿児島大学の寺田教授の指導の下、町内会やあいご会の方々と植樹体験をしました。



当園からも小学生10名が参加、市の文化財保全係の藤井さんや寺田先生の説明を聞いた後、丁寧に一鉢一鉢植えていきました。大きな石の塊にぶつかったり固い土に四苦八苦しなごうではありましたが、なんとか植樹をすることができました。数十年後にこのどんぐりの森が大きく育つことを夢見ながら、かわいい笑顔と歓声を寺山の森に残し終了しました。

【ホームページについて】

先日、卒園生からホームページのお問合せにメッセージをいただきました。新しく住所が変わったこと、家を建てたこと、またメッセージが届きました。結婚して幸せに生活していると、また仕事も私生活も充実していると、学園の職員一同大変うれしかったです。開設当初から卒園生からのメッセージはなかなかなく、活用されている実感がわきました。

卒園生の方で、当園のホームページを活用したい方がいらしたら遠慮なく声を掛けてください。

今後もホームページにできるだけ情報を掲載していきたいと思っております。今後ともご覧いただきたいと思います。

このような社会情勢ではございますが、皆様のご健勝をお祈りいたします。